









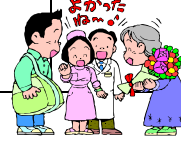


腹腔鏡下腹壁癒痕ヘルニア根治術入院診療計画書

経過 月・日	入院～手術前々日	手術前日	手術当日(前)	手術当日(後)	術後1日目	術後2～3日目	術後4～5日目	術後6～7日目	術後8～9日目	術後10日目(退院)
検査・治療・処置	回診: 毎日 採血・心電図・レントゲン・肺機能 24時間蓄尿・超音波・胃カメラ 大腸カメラ・注腸造影・CT ※手術前日まで上記の外来で済まれている検査が入ります その都度看護師がお知らせします			酸素マスク・心電図モニターがついてきます 鼻からの管を抜きます ガーゼ交換をします 手術後2～4時間ごとに検温します	採血・レントゲンがあります → はずします → 医師によるガーゼ交換があります	ガーゼを取ります (2日目)		7日目に半抜鉤 → 8日目全部取れます → ホッチキスのようなものが半分取れます		予定日 / 発熱が無く、 創の状態が良ければ退院可能です 
薬	飲まれているお薬を確認します 眠前に下剤を飲みます	下剤を19時と21時に飲みます。 眠れない時は安定剤もお持ちしますので、21時までに看護師にお申し出下さい。	手術室入室30分前に 筋肉注射、抗生剤の点滴をします	抗生剤の点滴が1日2回(朝夕)あります 手術前日から引き続き24時間点滴を行います 背中から痛み止めの薬の入ったチューブが入ってきます			点滴が抜けます 背中から入っているチューブが抜けます			
食事	普通の食事を取ることができます ※検査のため欠食や変更する場合があります	食事は夕食までです。その後は食べ物を取らないようにして下さい。 水分は21時までです	水分や食事を取ることはいけません (うがいはいできます)	目がしっかり覚めたら水分は飲めます。 内服も必要な薬は開始になります。	医師の許可があれば、常食が始まります 【体を動かしていきます】 ①ベッド上で座りましょう ②ベッドの端に座りましょう ③トイレまで歩いてみましょう ④看護師付添いで病棟を歩いてみましょう					
活動	制限はありません 		手術室入室30分前は ベッド上安静です	ベッド上で動いて良いです			制限はありません			
排泄			入室30分前までに排尿を済ませておいて下さい	尿を出すための管が入ってきます (手術室で行います)	→ 管を抜きます。 トイレまで行けますが、しばらく尿を貯めてもらいます	3日目までおしっこを貯めてもらいます	便は出ていますか？ 便の調整をしていきます			
清潔	入浴できます	手術する部位の毛を 除毛します その後、入浴して下さい つめ切り、髭剃り(男性)も済ませておいて下さい	手術衣に着替えます 	身体を拭きます 寝巻きに着替えます 	→ シャワー浴できます (2日目より) 看護師に連絡してください	背中 のチューブが 抜けたら、入浴 できます (5日目頃より)			退院となります 次回の外来予約や 退院計算は看護師 がお知らせします	
説明・指導	看護師が必要物品や手術前後の経過について説明します 呼吸訓練を始めます 禁煙して下さい	外科医および麻酔科 医が手術や麻酔について説明します 	義歯・指輪・時計・アクセサリー・ヘアピンなどははずして下さい	痛みが強いときはお知らせください (痛み止めを使います) 病室後深呼吸をして下さい (肺炎予防のためです) 	手術後は腸閉塞になりやすいためその予防のためにも身体を動かすことが大切です	便秘になると腹圧がかかります。 出来れば、腹帯をつけましょう	退院後の生活について説明します 			
	必要物品(バスタオル)の準備	必要物品の確認 印鑑を忘れずにお持ちください	家族の方は待合室でお待ち下さい				診断書・証明書の必要な方は早めにお知らせください 入院費用、介護保険などのご相談はソーシャルワーカーが承ります			